

# Tohjiro Report

～フォーミュラ・チャレンジ・ジャパン第9戦 第10戦～



CarNo.17  
cafeGIULIA FTRS・FCJ

**R.D.M**  
www.tohjiro.com

\* cafe GIULIA  
**ジュリア**

FOTO  
NOSS FOTONOSTALGIA

**S** 秀英学院

**TRIP**

**SE VAINCRE**

**LISUCOM**

ぎふとくらぶ 新流通カービス

**Cyber X**

**HELIX Racing Gear**

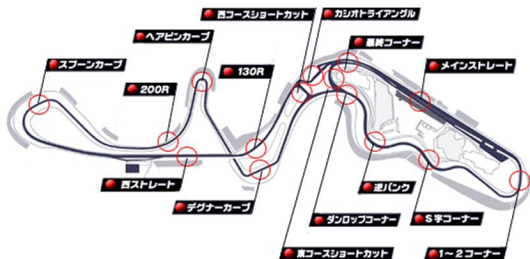
Family Smile

**la Strao**

**BLUETAG.JP**

Tohjiro.TV

## 猛暑の鈴鹿！！ 苦しい出だしとなった後半戦第1ラウンド！！



### FCJ 第5ラウンド 【第9・10戦】

- ◆開催場所◆  
鈴鹿サーキット(三重県)
- ◆タイムスケジュール◆  
7月12日(土)  
公式予選  
第9戦: 9時15分～9時30分  
第10戦: 9時40分～9時55分

決勝  
第9戦決勝  
13時30分～(12Laps)

7月13日(日)  
第10戦: 9時00分～(17Laps)



\* cafe GIULIA

ジュリア



FOTONOSTALGIA



秀英学院

TRIP

# R.D.M

www.tohjiro.com

SE VAINCRE

LISUCOM

ぎふとくらぶ 新流通サービス

Cyber X

ALP Racing Gear

Family Smile



BLUETAG.JP

Tohjiro.TV

## 第9戦予選 (08年07月12日 9時15分～9時30分)

◆晴れ ドライ

内圧は前日のNEWタイヤのときに感触の良かった内圧でいきました。

走り方としては、前日黒澤講師にアクセルの踏み方をもうちょっとメリハリをつけた方が良いとのアドバイスを頂いていたので、そのことも意識して走りました。

気をつけたことは、前日NEWタイヤおいしいところをうまく使えていなかったのも、前のマシンとの位置取りとタイヤの一番グリップの出るところを感じ取れるよう集中していました。

2周目までは一気に熱を入れないように走り、3周目からアタックしました。

そして次の周も手応え的にいけそうな感じだったのでもう1アタックと思い1コーナーに進入したら、2コーナーでクラッシュがあり、イエローフラッグを確認しました。

数周そのままイエローだったので、解除後もう一度アタックしましたがバランスが弱アンダー気味になってしまい、タイムアップなりませんでした。

サインボードで順位を出してもらっていたのですが、悪い順位に少し焦っていたことも確かで、アクセル操作にメリハリがついている反面ラフにもなってしまっていたことが反省点です。

結果を気にしてしまったことで、余計に自分で自分のリズムを崩して悪い方へいってしまいました。

**BEST: 2' 06. 902      21位/26位**

## 第10戦予選 (08年07月12日 9時40分～9時55分)

◆晴れ ドライ

このセッションは内圧リアを少し上げ、前後差をつけていきました。

この予選では順位を気にして焦ってはダメだから、サインボードで順位を出さないでいくことにしました。

自分でも気持ちを切り替えて集中していこうと思っていました。

内圧を変えてバランス的には良くなりましたが、それでもタイムは低い次元で安定したままタイムアップは出来ません。

後でロガーを見てみると、意識して走ったこともありアクセルのメリハリが出たのは良かったのですが、旋回速度が落ちてしまっていたり踏み始めで挙動を乱してタイムロスしている傾向がありました。

**BEST: 2' 07. 194      21位/26位**



**第9戦決勝 (08年07月12日 13時30分～ 12Laps)**

◆暗れ ドライ

この決勝は予選以上に暑く路面温度もかなり上がっていたので、内圧を前後とも予選時よりかなり下げていきました。

結果フィーリングは予選時より良く、途中まではタイヤもタレず安定していました。

水温はスタート時90度を超えていて走り始めてからも常に水温は高温、パワーが無かったので前のマシンから半車進ずらして少しでも水温を下げようとして走っていました。

中盤以降はリアタイヤが熱ダレしてきて、ダンロップコーナーなどリアがスライドするようになって全開で行けなくなってきました。

残り5周で突然メーターの液晶が消えてしまい、水温からタコメーターのランプまで、全てわからなくなるアクシデントが発生し一瞬焦りましたが、走りには違和感なかったのでそのまま走行しました。

予選時よりは少しペースも良くなったと思うのですが、一列渋滞でなかなか抜けず、思うようにポジションを上げることが出来ませんでした。

BEST : 2' 08. 255      18位

**第10戦決勝 (08年07月13日 9時00分～ 17Laps)**

◆曇りドライ

この決勝も前日のレースと同じ内圧でスタートしました。

スタートは前日のレースで半クラッチを長めに使い、良くもなく悪くもない感じだったので、今回は一瞬しっかりつないでその後もう一度クラッチを蹴ってみたら、つないだ瞬間に回転が落ちて失速し一台に抜かれてしまいました。

その後すぐにシケインのブレーキングで一台抜かして前に出るも、前の集団に追いついた後、最後は引っかかってしまっずずっとテールトゥノーズの競り合いとなります。

結局スプーンで追いついていてもなかなかバックストレートでスリップストリームに入ることが出来ず、シケインで抜くことが出来ないのもそのまま終わってしまいました。

何度も相手のミスをおうとプレッシャーをかけ、ミスをついてノーズを差し込んで行くも横に並ぶまで行かず、かなりストレスの溜まる展開でした。

そしてこのレースでも、残り6周でメーターの液晶が全く同じ症状で消えてしまいました。

結局ポジションは良くありませんでしたが、前日のレースよりアグレッシブに攻められたことは良い方向だったと思います。

**BEST : 2' 08. 530                    18位**

## 最後に

今回も二日間にわたって遠方より応援に来て頂き、誠に有難うございます。  
TOYOTA枠という最高の環境の中でレースをさせて頂いているのも、自分を支援してくださっているスポンサーの方々や家族、そして応援してくださっている全ての方々のお陰です。また、メールやお電話等での応援も本当に自分の力となりました。有難うございます。  
今回予選が非常に重要な鈴鹿で二回とも自己ワースト。  
更に決勝もほとんど上がれず、非常に残念で悔しい結果となってしまいました。  
ここまで良い結果を残すことが出来ていないこと、そして今回に至っては抜きづらい鈴鹿で決勝の追上げも見ることが出来ませんでした。  
予選での集中力、そして自分のメンタル面のコントロールを次回のもてぎまでの課題に挙げていきたいと思います。  
更なる向上を求め、相性の良いもてぎに向けて一つ一つ自分の課題をクリアして成長していきます。  
今本当に悪い流れですが、必ずその後は良い流れが来るので、成功を信じて前向きに全力で頑張ります。  
これからも日々努力していきますので、どうぞご支援ご声援の程宜しくお願い致します。

東 徹次郎

次戦第11戦・第12戦

8月9・10日 ツインリンクもてぎ

